

海外自治体幹部交流協力セミナー2019（パリ事務所管内） 事業概要

テーマ：市民一人ひとりの「暮らしの充実（安心・安全の確保）」を図る取組み

海外参加者数：5名

アングラン事務総長 ローラン・ジョルジュ

ポント＝ムッソン事務総長 グレゴリー・グッツ

メス・メトロポール事務次長 ヴァレリー・グッツ

ペイ・ドゥ・モルターニュ コミューン共同体事務総長 アルスィーノ・ドゥ・オリヴェイラ

バロン・ドゥ・オート・ブルターニュ共同体事務次長 フランソワーズ・プレメール

日程：

日程	内容
7月29日（月）	○来日・オリエンテーション
7月30日（火）	○講義：日本の地方行政の概要（明治大学木村俊介教授） ○見学：東京タワー ○視察：RICOH BUSINESS INNOVATION LOUNGE Tokyo ○CLAIR主催歓迎夕食会
7月31日（水）	○視察：大和ハウス工業(株) ○講義：地方行政・地方公務員制度に関する説明（総務省） ○視察：首都圏外郭放水路
8月1日（木）	○移動：静岡市へ ○表敬：田辺静岡市長表敬 ○講義：自治体概要説明、健康長寿の取組み ○視察：再開発ビル「札の辻クロス」 ○静岡市主催歓迎夕食会
8月2日（金）	○講義：児童福祉の取組み ○視察：登呂こども園、登呂地域子育て支援センター ○視察：JA静岡市
8月3日（土）	○ホームステイ
8月4日（日）	○ホームステイ ○視察：ホテルクエスト清水、三保松原 ○文化体験：清水みなと祭り 海上花火大会観覧
8月5日（月）	○講義：危機管理の取組み ○意見交換会 ○CLAIR主催帰国前夕食会
8月6日（火）	○表敬：亀澤静岡市議会副議長表敬 ○移動：東京へ
8月7日（水）	○帰国

【東京セミナー：7月29日（月）～7月31日（水）】

（1）講義：日本の地方行政の概要

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科、木村俊介教授による日本の地方自治に関する講義をクレア本部会議室にて開催。参加者からは、地方税の状況や市町村合併後の影響に関することに加え、教育費や保育所の状況といった社会的情勢に関することまで幅広く質問があった。



木村教授による日本の地方自治に関する講義

（2）視察：RICOH BIL Tokyo

（株）リコーの「RICOH BUSINESS INNOVATION LOUNGE Tokyo」を訪問。最新技術を用いた同社の製品に触れながら Bil Tokyo の取組内容、大型スタジアムの避難誘導システムについて説明を受けたほか、災害発生時の介助者負担軽減のため同社の全国的なネットワークを活用して展開を後押ししている「JINRIKI」の紹介及びデモンストレーションが行われた。複写機メーカーとしての印象が強い同社のこのような取組みに参加者は驚きつつも、「とてもおもしろかった」、「今回、新たに知ることができてよかった」とのコメントがあった。



RICOH BIL Tokyo で最新の技術を体験

（3）クレア主催歓迎夕食会

グランドアーク半蔵門にて開催。参加者の出身自治体に関することや、セミナーテーマに係る日仏の状況について、忌憚のない意見交換が行われた。

（4）視察：大和ハウス工業（株）

安心して歳をとることが出来る暮らしの実現を目指し、ロボット技術を活用して「人」を支援する環境づくりを行う「大和ハウス工業（株）」を訪問。参加者は、同社が高齢化や介護職員需給の将来推計等を踏まえて取組みを行うロボット事業について説明を受けるとともに、介護者の腰をアシストし、腰痛リスクを軽減する「HAL（Hybrid Assistive Limb）」や、ベッドが車いすに変形し、移乗の負担を減らすリショーン Plus 等の様々な商品について紹介を受けた。日本と同様に高齢化の対応が迫られるフランス人参加者にとって、日本の大手住宅メーカーのこのような取組みは、非常に印象的であったとのこと。



大和ハウス工業(株)におけるアシストロボットの紹介

(5) 講義：地方行政・地方公務員制度に関する説明（総務省）

初日の日本の地方自治制度の講義を踏まえて、総務省では地方自治体と国との関係、自治体内部の構造や日本の地方公務員の特徴等の具体的な説明がなされた。参加者からは、国による人口減少対策に関する政策や職務の義務の範囲、地方分権の推進による影響等について質問が相次いだほか、フランスの自治制度に対する率直な意見を求めるなど、両国の社会情勢や地方自治制度の相違について意見交換を行い、知見を深めた。



総務省における意見交換

(6) 視察：首都圏外郭放水路

水防のための世界最大級の地下放水路である「首都圏外郭放水路」を視察。

参加者は、最新テクノロジーを駆使したさまざまな施工技術や管理システム、巨大放水路を支える主要施設、排水システム等、その全貌について説明を受けるとともに、実際に施設を視察・体感し、そのスケールの大きさに圧倒されているようであった。



首都圏外郭放水路見学

【静岡市セミナー：8月1日（木）～6日（火）】

(1) 田辺静岡市長表敬

8月1日からは、静岡市において地方セミナーを開催。静岡市は、フランスのカヌ市と姉妹都市であり、昨年10月にはカヌ市と新たに政策研究に関する覚書を締結するなど、今まで以上にフランスとの交流深化や欧州におけるプロモーションを推進している。

田辺静岡市長との面談では、人と人とのつながりが基礎になること、また、国勢に左右されない地域外交の強みなどについて発言があり、今後の日仏自治体間の交流促進に向けて、お互いに意識を強めた。



田辺静岡市長との面談

(2) 自治体概要説明

静岡市セミナーでは、静岡市及び参加者自治体の概要について双方で説明を行い、また、テーマに沿って「高齢者福祉」、「児童福祉」、「防災」の3つの分野で静岡市と参加者自治体による事例発表と意見交換を行った。

(3) 講義：①健康長寿の取組み

静岡市は全国的に健康寿命を延ばす取組みが最も進んでいるまちであり、市民が連携して高齢者を地域で支え合う体制を構築している政策に対して、参加者からは「フランスでは高齢者支援は広域連合が行うものだが、高齢者が住み慣れた地域の住民と関わり合いながらケアを受けられるのは良いことだ。」「認知症などの介護は専門家や民間が行うためコストがかかるが、地域ぐるみで見守る取組みは人間的なケアが良い。」など、両国の体制の違いを踏まえた発言があったほか、高齢者の自立性を確保した在宅ケアの取組みの重要性について共感の声があがった。

この後、参加者は地域住民の交流拠点として中心市街地の活性化を目指す「札の辻クロス」を訪れ、当該ビル内の有料老人ホームを見学した。

また、食へのアプローチとして、JA静岡市を訪れては地元食材の効能や活用方法について紹介を受けるとともに、ホテルクエスト清水では実際に地元食材を用いて調理された健康食である「駿河湾レシピ」を体験した。



静岡市と参加者の自治体による取組発表



ホテルクエスト清水で健康食レシピを体験

(4) 静岡市歓迎レセプション

静岡市滞在の初日は、静岡市歓迎レセプションが開催され、田辺静岡市長、遠藤静岡市会議長及び市役所関係局長の出席のもとあたたかい歓迎を受けた。

参加者は地元食材による料理と静岡の伝統芸能である「清水芸妓」による唄と踊りの披露を通じ、日本・静岡の文化を体感した。

(5) 講義：②児童福祉の取組み

児童福祉の分野では、フランスでは有資格者による出張保育サービスや保育所の受入時間が充実していること、また、テレワークの推進や託児所付き文化施設の整備などによる母親のライフスタイルに対応した支援策などについて参加者から紹介があった。静岡市は、2年連続で待機児童ゼロを達成し、子どもの保育所受入施策の推進に積極的に取り組んでおり、フランスの保育所の運営体制や女性の就労支援などについて活発な質疑



登呂地域子育て支援センターを訪問

がなされた。また、実際に子ども園などの施設を訪問し、受入乳幼児数、子どもの特性を踏まえたアプローチ、緊急時の対応や市内入園先の選定方法などについて施設職員と幅広く意見交換が行われた。

(6) 文化体験

各参加者は、行政視察以外にも、ホームステイや旅館での宿泊を通じて日本文化を体験したほか、フランス人舞踏家エレヌ・ジュグラリスの碑がある世界文化遺産「三保松原」を訪れたり、浴衣を着用して夏の風物詩である「清水みなと祭り」の花火鑑賞をしたりするなど、静岡市の魅力も存分に体感した。



清水みなと祭りの花火鑑賞などを通じた文化体験

(7) 講義：③危機管理の取組み

危機管理の分野では、静岡市側から地震、津波、風水害対策や防災体制などについて説明を受け、参加者からは、フランスの国内危機管理体制をはじめ、沿岸地域の水害対策について発表を行った。両国の風土や制度に相違はあるものの、住民参画の大切さや危機管理意識の啓発の重要性について、双方が認識を深めた。



アングランにおける危機管理の取組発表

(8) 意見交換会

本セミナーの総括として、セミナー全体を通じて得た知見や体験したことを踏まえ、参加者からは率直な感想が寄せられるとともに、各テーマに係る静岡市の各担当局と更なる意見交換を行い、両国の地方自治及び政策に関する知見を深めた。

参加者からは、「意見交換や視察、ホームステイなどのプログラムが素晴らしかった。学んだことを必ず業務に活かしていきたい。」「自治体同士の交流による得難い出会いや交流をすることができた。」などの感想が寄せられ、静岡市からも、「フランス側の取組は本市の施策の形成に大いに参考になるとともに、フランスの自治体関係者との新たなネットワーク作りの良い機会となった。」という声があり、日仏双方の参加者にとって、大変実りの多いセミナーとなった。



意見交換会のようす

(9) CLAIR 主催帰国前夕食会

せせらぎの宿「紅竹」における帰国前夕食会では、参加者は本セミナーの修了証を受け取り、東京セミナー、静岡セミナーを通じて感じたことを静岡市関係者及びクレア職員と共有した。



帰国前夕食会におけるスピーチのようす

(10) 亀澤静岡市議会副議長表敬

静岡セミナーの最終日は静岡市議会亀澤副議長のもとを訪れ、歓迎の挨拶を受けるとともに、セミナーに参加した感想などが問われ、参加者代表からはこれまでのセミナーの振り返りや謝意などが伝えられた。また、亀澤副議長からは参加者が感じられた静岡市の魅力をぜひ自国に戻られても発信してほしい、とのコメントがあった。



静岡市議会亀澤副議長との面談